

8-4-22 鉄道専門委員会

1. 主な活動の記録

- (1) 委員会の開催
専門委員会の開催回数：9回（Web 併用）
- (2) 鉄道専門委員会セミナーの開催
若手および中堅技術者を対象とした、鉄道に関するセミナーを年1回開催した。
・10月29日（火）
「関東大震災から101年 鉄道の地震災害と
その後の対応」
講師 野澤 伸一郎 氏
JR 東日本コンサルタンツ株式会社
開催方法 協会会議室、録画配信
- (3) 「品質セミナー」のためのエラー事例の収集と分析を実施。
昨年に引き続き、委員出身各社からエラー事例を収集し整理した。昨年までの211例に17例を追加し228例とした。
また、当委員会は隔年参加となり、今年度は不参加。来年度は参加予定。
- (4) RCCM 教材の改訂
RCCM 自主学习システム教材の改訂は、誤字脱字、内容の追加・見直しなど軽微な変更を行った。
同時に演習問題については、新規問題の追加および削除等見直しは無かった。
- (5) 「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（改訂第11版）に関する改訂および普及活動
「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（改訂第11版 第2版）について、発注機関等からの問合せにより計11部を配布した。
また、建設コンサルタンツ協会の一般用ホームページに掲載している正誤表についても、必要に応じて随時、更新する。
- (6) 「報酬積算の手引き」（改訂第11版）に関する質疑対応
「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（（一社）建設コンサルタンツ協会 改

訂第11版）に対する質疑について対応した。
質疑件数は、9件であった。今後も随時対応する。

- (7) 「報酬積算の手引き」（改訂第11版）の改訂作業
「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（（一社）建設コンサルタンツ協会 改訂第11版）の改訂作業を行った。その他に新規工種の追加や歩掛等の見直し作業も併せて行った。次年度、改訂第12版を発刊する予定である。
- (8) 独立行政法人 鉄道・運輸機構との協議
独立行政法人 鉄道・運輸機構と設計歩掛やDX、業務関連について協議を行った。また、意見交換会を開催した。継続審議が必要な課題については、実態調査も含めた対応や協議を行い、前向きに協力していく。

2. 次年度の活動について

次年度の活動としては、「鉄道専門委員会セミナー」を開催する予定である。エラー事例の収集と分析及び品質セミナーWGの参加、RCCMの自主学习システム教材改訂、「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（第11版）の普及を実施する。加えて、「鉄道土木の計画・調査・設計報酬積算の手引き」（第11版）については、現在作業している内容の見直しを反映し、第12版に発刊する予定である。

また、鉄道・運輸機構に対しては、意見や要望を提示し協議を継続していく。

その他、鉄道総合技術研究所や鉄道・運輸機構の窓口として、技術標準の改定に伴う資料の収集と展開などの役目を果たしていく。

（鉄道専門委員会委員長 横田 昌也）